

心で考える安全・安心の研修会

ヒューマンエラー研修会を開催しました！

6月3日(金)、山口市南総合センターにおいて、講師に「高知大学 矢野宏光准教授」お迎えし、標記の研修会を開催しましたので、その概要をお知らせします。



①まずは、ヒューマンエラーとは？

○「意図した結果に至らなかった人間の行為や決定のこと」「事故やトラブルを起こす“人間の失敗”のこと」

○ヒューマンエラーの定義をした上で、なぜエラーが起こるのか、起こっても

気づかないのか、個人のエラーとチームのエラー、性差によるエラーの背景など、スポーツ心理学の視点から、エラーの発生原因を例示された。

②リーダーシップが発揮されれば、エラーが防げる！

○エラーが起こったときに、リーダーシップが発揮されれば、修正できる。そのリーダーのアドバイスのしかたを学んだ。

○よいリーダーやコーチは、よい例を示すことで、課題目標が作られ、自分の内発的動機により進歩していく。

③コミュニケーションとは？

○なんとと言っても、パーソナルコミュニケーションがエラーの防止には必要。伝え合うときには、「どうすれば解決できるのか」「現在、何がうまくいっているのか」など、課題解決に向けたトーク(ソリューション・トーク)が求められている。

④ソリューション・トークを体験「ワークショップ」

○参加者は、6人程度のグループを作り、「話を聞くこと」「結論から先に言うこと」など話し方の約束を確認した後、「A子の物語」を資料に、登場人物 6人の責任の重さを話し合った。この話し合いで、人によって様々なとらえ方があることを多くの参加者が気づくことができた。



⑤アンガーマネージメント(怒りのコントロール)とは？

○これまでの指導者は怒ることが得意であったが、これからは、表情も含めてマネージメントする必要がある。そのための5つの対処法を紹介された。矢野先生は、スポーツ心理学に基づき、剣道やスポーツとのかかわりを踏まえ、実践によるお話の数々に、参加者は自分をふりかえるとともに、チームやクラブ組織づくりのイメージが膨らんだようでした。参加された皆様に有意義な時間を提供できたようです。

この研修会は、公益財団法人スポーツ安全協会の助成を受けて行われました。ご臨席賜りました「公益財団法人スポーツ安全協会総務部長 川島雄二 様」「三井住友海上火災 大津廉 様」「日本体育協会クラブ育成課 岩田亜紀子 様」、本当にありがとうございました。

わ
く
わ
く
（
輪
く
和
く
）
通
信

広域スポーツセンターだより

Vol.14

平成28年8月

こころもからだもすっきり！「地域指導者養成研修会(ACP普及講習会)」報告

6月11日(土)、周南市鹿野総合体育館で、ACPの研修会を行いました。鹿野地区の皆様はもとより、他市からの参加があり、幼児期からの運動遊びの大切さやACPのアレンジのしかたなど、参加者が童心に返っての学びとなりました。

講師の佐藤善人氏(東京学芸大学准教授)と青野博氏(日体協スポーツ科学研究室長代理)のお二人によるアグレッシブな指導で、いつの間にかからだを動かしていた参加者がほとんどでした。絶えず笑いや歓声が起こりました。佐藤氏は、「今のように失敗しても笑いが起こります。スポーツではとかく失敗すると叱られるというイメージになりやすいものです。遊びであれば、思わず笑いや歓声が起こるものです。幼児期にこのような経験をたくさんさせたいものですね」と語っておられました。

参加者からは、「活動に参加できず、親のそばを離れない子どもをどうしたらいいのか」「幼児のボール投げの指導のコツは」「すぐにあきる幼児の指導は」などの具体的な質問が出され、参加された皆様の熱意が講師にも伝わったようです。今回、参加者の1/3が総合型地域スポーツクラブの関係者でした。次回は、10/29(土)山口市リフレッシュパークにて開催しますので、日頃の活動に役立てるプログラムを学んでみませんか？



クラブ紹介

平生ゆうゆうクラブ

平成18年に設立された平生ゆうゆうクラブは、保護者が指導者・運営委員となり、無理せず、できることをみんなで楽しむアットホームクラブです。親育てが子育ての第一歩。こどもたちといっしょに楽しくあそんで、みんなが元気になる地域コミュニティクラブを目指して活動しています。

Q. クラブ設立のきっかけを教えてください。

A. 幼稚園の母親たちが集まってスポーツを楽しんでいるクラブがニュースポーツや地域の老人クラブと輪投げや室内ゴルフをして遊んだことを機にスポーツ少年団に入っていない子どもたちがスポーツに親しめる環境を整えたいとの思いから設立しました。

Q. クラブの自慢を教えてください。

A. 定期スポーツ教室だけでなく様々なスポーツ体験教室を実施したり、田植え・稲刈り・もちつきや田んぼアートにも挑戦したりしています。フライングディスク教室では、日本チャンピオンの大内先生に指導していただき、年1回ドッジビー大会を行っています。その他にもツリークライミングや料理教室などを実施するほか、地域の行事等にも積極的に参加しています。



■年会費

1,000円(保険料含む)
500円/月

■活動種目

卓球、ドッジビー、その他

今宿スポーツクラブ

今宿スポーツクラブは、周南市今宿地区を拠点に、お年寄りから子どもまで、気軽に参加できるスポーツ・文化活動で、健康づくり・生きがいづくり・仲間づくりを目指して、活動しています。今回はクラブ事務局の田村さんにお話を伺いました。

Q. クラブ設立のきっかけを教えてください。

A. 従来からあった地域内の体育振興会メンバーが、スポーツをはじめたい住民の受け皿として、また、地域内行事への参加者が減少する中で地域住民のコミュニケーションの場として、クラブ設立を目指しました。

Q. クラブの自慢を教えてください。

A. 平成24年のクラブ設立から活動種目を増やし、楽しく活動しています。設立4年目からは自主財源での運営を行っています。

Q. 今後の課題を教えてください。

A. 新規入会者数の伸び悩んでおり、活動場所の確保やニーズに応じた魅力ある事業展開による新規入会者の確保が課題です。



■年会費

一般1,000円 家族1,200円

■活動種目

ソフトバレーボール、バドミントン、
ハンドボール、ウォーキング
卓球、パタンク

いきいき健康スポーツ教室

いきいき健康スポーツ教室は、クラブ名のとおり、特に健康に気を配り、無理のないストレッチ体操・リズム体操を中心に、ラージ卓球やトリムバレーボールを行っています。会員の方は中高年齢の方が中心で、皆さんいきいきと活動しています。

Q. クラブ設立のきっかけを教えてください。

A. 中高年齢者の健康維持・推進のために始めました。現在は、約200名の方が会員となり元気に活動しています。

Q. 大切にしていることを教えてください。

A. 会員同士の交流です。クラブを通じて友達になり、クラブ活動以外の場所でもコミュニケーションを取り合っている方がたくさんいるようです。会員同士の横のつながりをつくり、それがクラブの活性化や地域の活性化につながれば良いと思います。

Q. 現在のクラブの課題点を教えてください。

A. 活動場所の確保です。現在、下関市体育館を使用して活動していますが、市や学校の行事と重なると使用できないため、その際の場所の確保に大変困っています。現段階での解決策はないですが、今後模索していきたいと思っています。



■会費

500円/月

■活動種目

健康体操
(リズム体操、ストレッチ体操)
ラージボール卓球、トリムバレーボール

【広域スポーツセンター問い合わせ先】

- ・東部広域スポーツセンター(徳山大学内) TEL 070-5305-0674
- ・中部広域スポーツセンター(山口県体育協会) TEL 083-933-4697 FAX083-933-4699
- ・西部広域スポーツセンター(東亜大学内) TEL 070-5305-8917